



# 1年学年だより

発行日：平成 30 年 6 月 6 日（水）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

校長：磯部 修一 NO. 2

## 南高祭体育祭の部開催

5月29日（火）に今年度の南高祭の先駆けとして、体育祭の部が開催されました。例年体育祭は6月初めに実施していましたが、3学期制への変更にとともない、今年度は5月末の開催となりました。体育祭実行委員会は開催時期の変更に伴い、準備に大変大忙しでしたが、高校の先輩方と連絡を取りあい無事に開催への運びとなりました。

当日は心配されていた天気にも恵まれました。たくさんのおうちの方々のご観覧ありがとうございました。

赤・青・黄、中高6学年勢ぞろい！



### ★体育祭をふりかえって★

事前の予報では雨も心配されましたが、当日はとても過ごしやすく、時折、夏の太陽が顔を出す、まさに体育祭日和の一日となりました。グラウンドでは中学1年生から高校3年生まで6学年、1000人が集い、熱い戦いが繰り広げられました。

今年は、有志による応援団が正式に組織され、応援合戦も催されました。各色、高校3年生の団長を中心に趣向を凝らした迫力ある応援が行われました。中学生も昼休み限定の短い時間の中、集中して練習に取り組み、先輩に負けじとかわいい(?)演技を披露してくれました。そんな応援に後押しされるように、各競技も例年以上の盛り上がりを見せてくれました。

お互いに信頼し合い、全力で応援や競技に取り組む、高校生の姿を見て、中学生も一緒に参加できることは中高一貫校ならではの貴重な経験だと思います。この体育祭では、生徒たちの一生懸命に取り組む姿に我々大人が元気をもらいました。全校で協力して取り組む行事のすばらしさ、意義を改めて感じさせてくれた1日でした。

そして、企画から準備、当日の運営など、実行委員を始め、生徒会役員、放送部、この体育祭を支えてくれた皆さんに感謝です。ありがとう！

南高祭体育祭の部実行委員担当 小野寺 啓司

## 迫力と笑顔の体育祭！

5月29日(火)に南高祭の幕開けとして、体育祭が開催されました。高校の先輩方とは初めての合同行事です。高校の先輩方の迫力に驚き、興奮したことでしょ。色別応援も高校の先輩方のリードに乗ってとても楽しむことができました。下級生を力強くリードするそんな先輩になっていきたいですね。そして応援してもらうことのうれしさ、応援することの気持ちの良さを毎日の学校生活の中にかかしていきたいと思います。

学年種目の大縄跳びは、各クラス0回からのスタートで、試行錯誤しながら練習を重ねてきました。当日は全クラス30回を超えるという大満足かつハイレベルの競技となりました。おつかれさまでした。そして、準備や片付けに頑張ってくれた体育祭の部委員さん、ありがとうございました。

**大縄跳び優勝☆1・2組 学年優勝☆1・4組 色別優勝☆青**

### 実行委員さんに振り返ってもらいました！

1組: [ ] & [ ] & [ ]

体育祭を終え、私たちは「初めての実行委員で大変だったけど、全員が楽しめた体育祭にすることができて良かったな」という気持ちでいっぱいになりました。長縄では、練習の成果を十分に発揮することができ、団結力がより高まったと思います。応援も、学年関係なく、全力で応援することができ、とても盛り上がりました。来年もまた体育祭実行委員になって、一生思い出に残るような体育祭を創り上げたいです。



2組: [ ] & [ ] & [ ]

僕はとてもやりがいを感じました。体育祭が近づいてくるにつれて、準備が忙しくなったり、前日準備でたくさんのイスを出したり、少しつらいと感じることもあったけど、本番ではすごく楽しむことができました。招集の仕事をやりながら、いろいろな人と関わることができてすごく楽しかったです。

みんなに楽しんでもらうための仕事に携わることができ本当に楽しかった。実のところ立候補したときは、実況や式の仕事ができると勘違いしていた。実際は主にクラス内での報告や会場・用具の準備など裏方であった。しかし、この役割があるおかげで当日、安全かつスムーズに行うことができるのだと気づいた。高校の議長団の方々には休む間もなく働き、出場競技でも格好良い姿を見せてくれた。私はこの経験に誇りを持ち、先輩方のようにになりたい。

私は今回、委員になって体育祭は生徒の力によってつくられていると実感しました。ただ参加しただけでは、裏の努力を知ることができないと思います。近くなると毎日のように集まりがあり、大変だと感じました。しかし、先輩たちが一生懸命に頑張っているところを見ると「負けられない」と思いました。本番も分からないことがたくさんあって心配になったり、行動が遅れてしまったりする部分がありました。でもみんなが協力してくれて、スムーズに進んだと思います、日常生活でもこの経験を生かして過ごしたいです。

3組: & & 僕は委員に入って、クラスがもっと仲良くなるように心がけました。実行委員は短期集中の活動でとても忙しかったのですが、本番になって、全クラスが大縄30回を超えるなど体育祭が成功できたので、委員になってよかったと思いました。3組は中々記録が伸びず悩んでいたのですが本番で新記録を出せて良かったです。



初めての体育祭でうまくできるか、不安で準備もイスが重く、手が痛くて大変でした。だけど、当日は全体的に応援で皆が盛り上がってくれたし、個人種目でも一人ひとりが最後まであきらめずに頑張っていて、さらに大縄でも練習では20回だったのに30回という新記録が出せたので私はすごく思い出に残った体育祭になりました。



4組: & & 私は今回の体育祭で「大きなことをするには、小さな努力がないとできない」ことを改めて感じました。用具係でサバイバルの時にマシュマロを入れたり、借り人でゴールテープを持ったりと、様々なことをしました。少し大変な部分もありましたが、それによってみんなが盛り上がり、楽しんだりしてくれたので、努力した甲斐がありました。1年生は学年種目の大縄と個人種目の計2種目しか出場する場面がありませんでした。最初は少ないなと感じましたが、楽しかった、面白かったと、ほとんどの人は思えたのではないのでしょうか。それは一人ひとりが精一杯努力したからだだと思います。例えば応援です。一人ひとりが大きな声を出さないと、あんなに大きな応援になっていなかったと思います。そして、大縄です。みんな「勝つ！」という目標に向かって昼休みにたくさん練習していました。本番でも少しでも高く跳ぶように意識したり、回し手は大きく回そうとしたりと努力したと思います。その努力があったからこそ、すべてのクラスが30回以上を跳ぶという偉業を成し遂げたのです。これからは努力することの大切さを忘れずに過ごしていきたいです。

姫のひとりごと ～学年主任より～

中高一貫教育校ならではの「ザ・体育祭」が、みんなの日に焼けた笑顔と共に無事終了しました。一つの行事を行うのに、どれほどの準備と支えが必要なのか。そういうことを常に考え、感謝できる7期生でいてください。次は合唱コンクールです！

平成 29 年度 予算決算報告書 (単位: 円)

費目	配当額	決算額	残額	備考 (具体例)
学校運営振興費	13, 105, 000	13, 043, 682	61, 318	備品、消耗品等

※残額は横浜市に戻入されています。

平成 30 年度 予算執行計画書 (単位: 円)

費目	配当額	執行予定額	残額	備考 (具体例)
学校運営振興費	13, 123, 400	13, 123, 400	0	備品、消耗品等